

市 民 ア ン ケ ー ト 調 査
結 果 報 告 書

平成31年1月

藤 岡 市

目 次

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	調査結果報告書の留意点	2
(5)	地区別回収状況	2
(6)	性別・年代別回収状況	3
(7)	地区別・年代別回収状況	3
2	回答者の属性	4
(1)	性別	4
(2)	年齢	4
(3)	就業形態	5
(4)	業種	5
(5)	就業先	5
(6)	居住経験	6
(7)	居住地区	6
3	まちの現状について	7
	市の現状評価	7
図表 1	市の現状評価（全体、居住地区別/満足度）	10
図表 2	市の現状評価（全体/満足度）	11
図表 3	市の現状評価（居住地区別/満足度）－藤岡地区－	12
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－神流地区－	13
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－小野地区－	14
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－美土里地区－	15
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－美九里地区－	16
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－平井地区－	17
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－日野地区－	18
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－鬼石地区－	19

4	これからのまちづくりについて	20
	今後の重点施策分野	20
	図表 4 今後の重点施策分野（全体/複数回答）	21
	図表 5 今後の重点施策分野（全体、性別、年齢別/複数回答）	22
	図表 6 今後の重点施策分野（全体、居住地別/複数回答）	23
5	自由意見	24
	図表 7 自由意見の分野別件数（全体）	24
	自由意見の内容	25
	資料：調査票	32

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第4次藤岡市総合計画（平成20年度から平成29年度）の計画期間満了に当たり、市政に対する満足度や市民の意見を取り入れて検証を行うとともに、今後のより良い行政サービスに結びつけるために市民アンケート調査を実施する。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象者	18歳から80歳までの市民
抽出数	2,000
抽出母体	住民基本台帳（平成30年11月1日）
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布、回収
調査時期	平成30年11月
調査地域	藤岡市内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の8地区に区分した。 ①藤岡地区 ⑤美九里地区 ②神流地区 ⑥平井地区 ③小野地区 ⑦日野地区 ④美土里地区 ⑧鬼石地区

(3) 配布数及び回収結果

調査対象者数 2,000人 (男性 1,002人 女性 998人)

区 分	対象者数（人）	回収者数（人）	有効回収率（％）
今 回 (H30. 11)	2, 000	950	47. 5
前 回 (H28. 9)	2, 000	823	41. 2

人口 65,086人（男性 32,003人 女性 33,083人 日本人のみ）/平成30年11月1日現在

(4) 調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 比率は百分率（％）で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%とならない場合がある。
- 基礎となるべき実数は、“n=950”として記載し、各比率はnを100.0%として算出した。
- 複数回答方式の設問では、回答率は回答者総数に対する回答数の割合を示すものとなる。従って、回答率の合計は100.0%にならない。同様に、回答者の合計は回答者総数とは一致しない。

(5) 地区別回収状況

地区名	対象者数（人）			回収者数（人）				回収率（％）		
	男性	女性	計	男性	女性	無回答	計	男性	女性	計
藤岡地区	305	311	616	152	189	1	342	49.8	60.8	55.5
神流地区	136	134	270	56	56	2	114	41.2	41.8	42.2
小野地区	173	173	346	64	84	1	149	37.0	48.6	43.1
美土里地区	132	132	264	53	60	0	113	40.2	45.5	42.8
美九里地区	85	86	171	42	41	0	83	49.4	47.7	48.5
平井地区	65	64	129	28	35	0	63	43.1	54.7	48.8
日野地区	24	21	45	7	11	0	18	29.2	52.4	40.0
鬼石地区	82	77	159	27	37	0	64	32.9	48.1	40.3
無回答				1	0	3	4			
計	1,002	998	2,000	430	513	7	950	42.9	51.4	47.5
構成比率（％）	50.1	49.9	100.0	45.3	54.0	0.7	100.0			

(6) 性別・年代別回収状況

区 分	男性 (人)	女性 (人)	無回答 (人)	計 (人)	構成比率 (%)
10歳代	3	9	0	12	1.3
20歳代	37	33	0	70	7.4
30歳代	40	51	0	91	9.6
40歳代	59	87	1	147	15.5
50歳代	58	91	1	150	15.8
60歳代	127	117	1	245	25.8
70歳代	96	111	0	207	21.8
80歳代以上	9	13	1	23	2.4
無回答	1	1	3	5	0.5
計	430	513	7	950	100.0
構成比率 (%)	45.3	54.0	0.7	100.0	

(7) 地区別・年代別回収状況

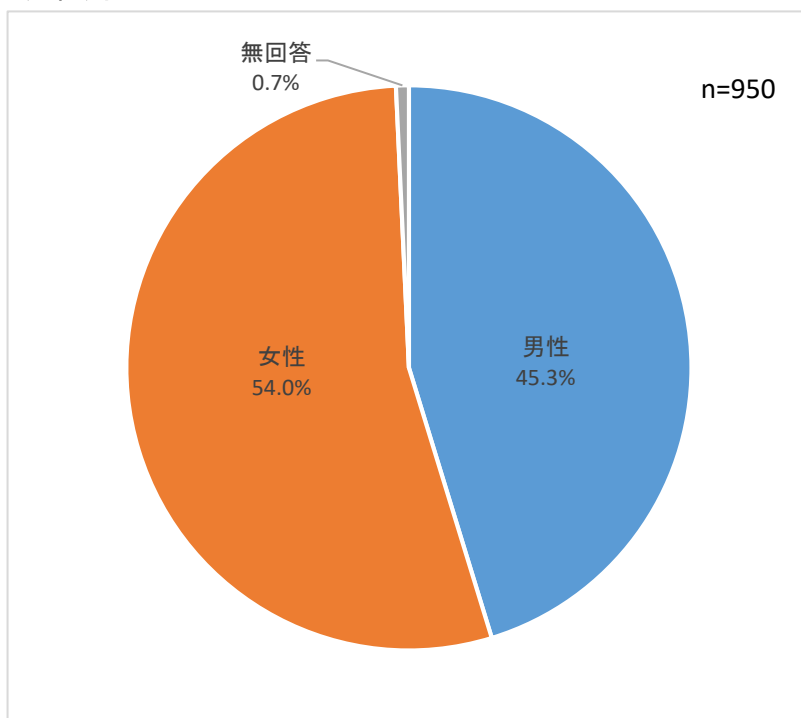
(単位：人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	無回答	全体
藤岡地区	6	35	30	60	56	80	68	6	1	342
神流地区	0	4	12	23	16	24	30	5	0	114
小野地区	3	14	16	21	27	36	27	5	0	149
美土里地区	2	6	14	22	15	32	20	2	0	113
美九里地区	0	4	10	8	9	26	23	3	0	83
平井地区	0	3	4	6	11	21	17	0	1	63
日野地区	0	2	0	1	5	5	5	0	0	18
鬼石地区	1	2	5	6	11	21	16	2	0	64
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4
計	12	70	91	147	150	245	207	23	5	950

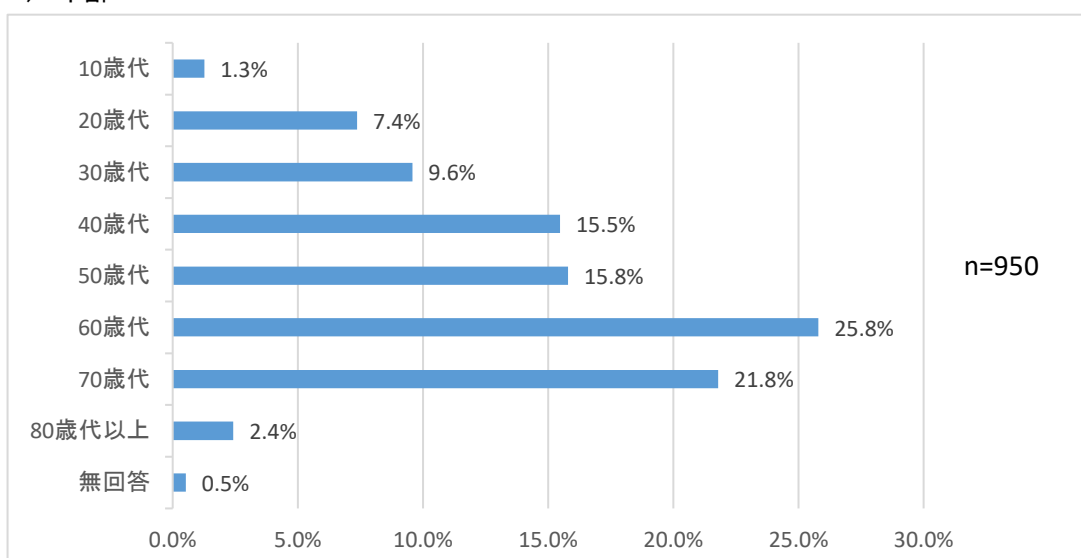
2 回答者の属性

問1 あなた自身のことについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

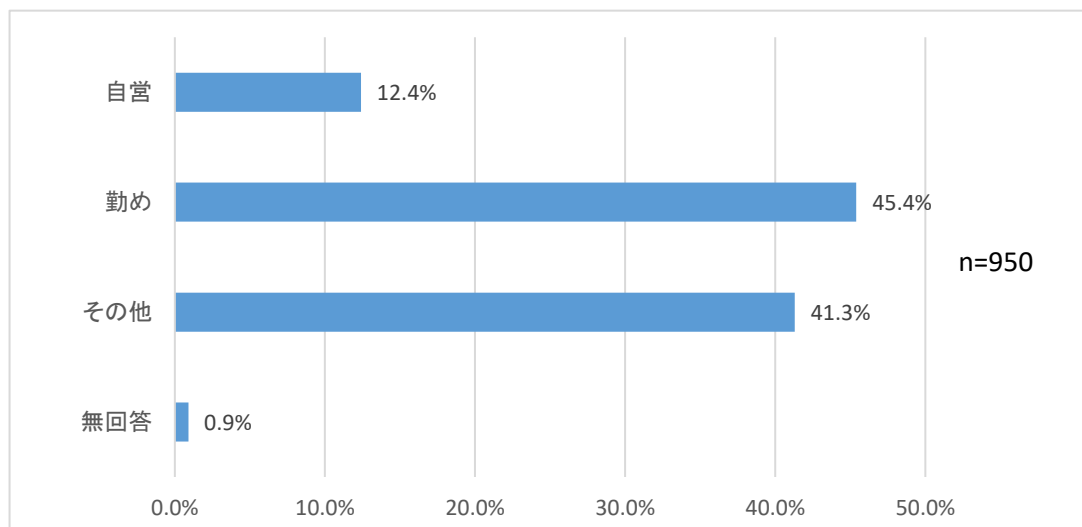
(1) 性別



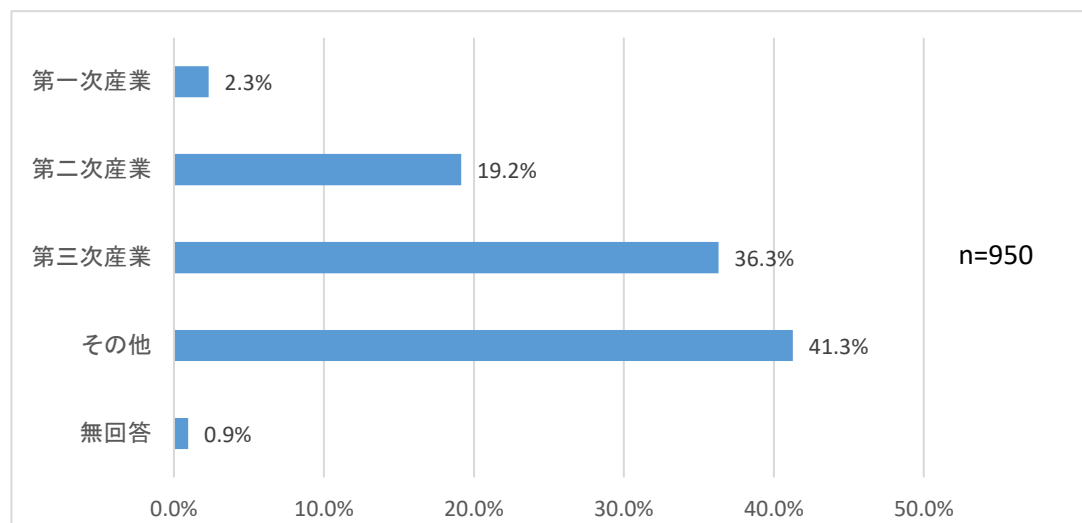
(2) 年齢



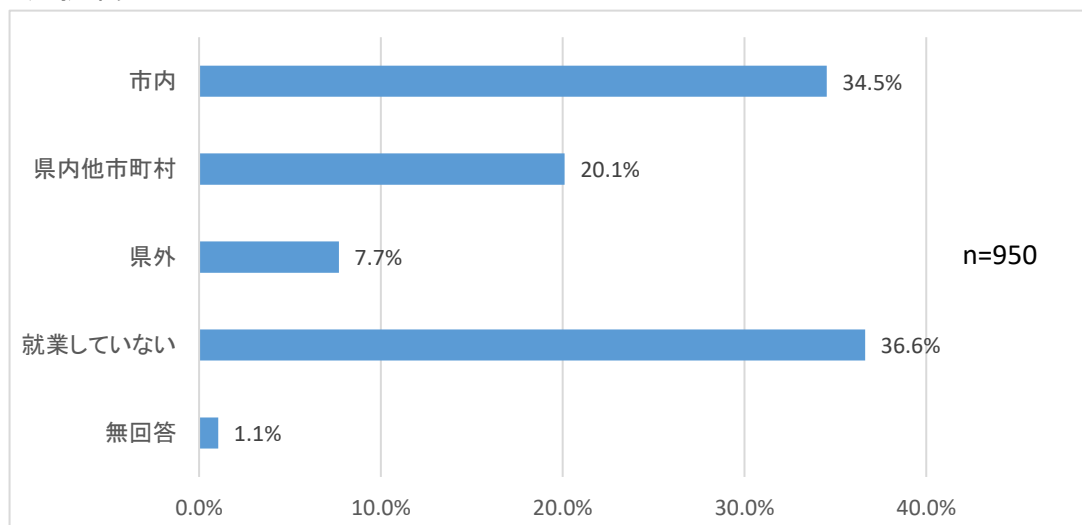
(3) 就業形態



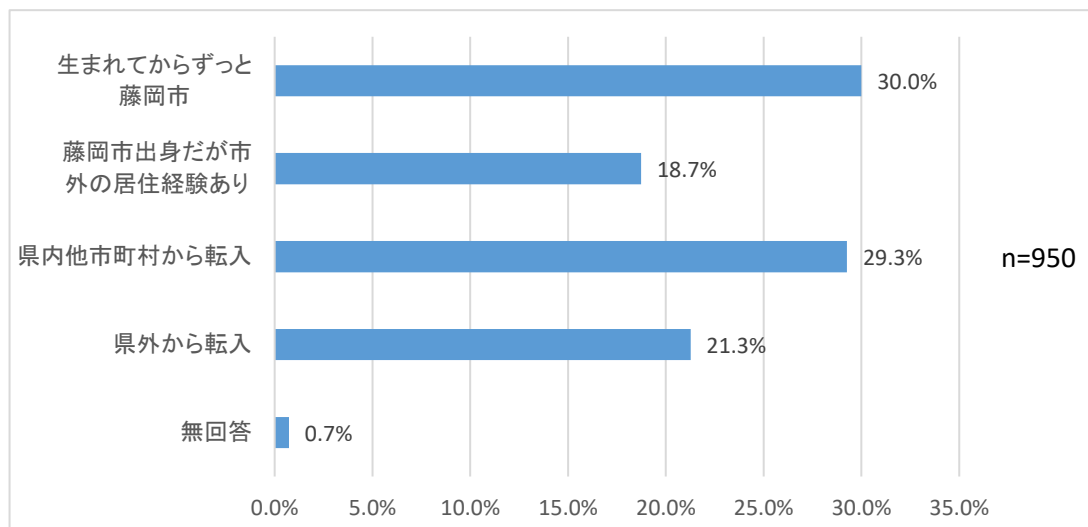
(4) 業種



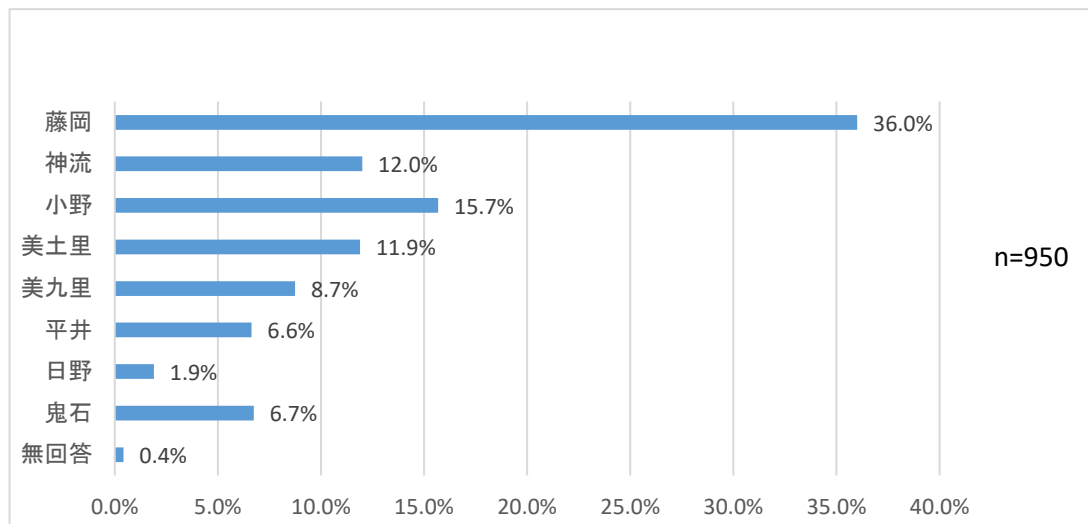
(5) 就業先



(6) 居住経験



(7) 居住地区



3 まちの現状について

市の現状評価

問2 藤岡市の現状に関する(1)～(25)の各項目について、あてはまる満足度1つに○をつけてください。(5～1の番号のうち1つに○)



- 満足度の最も高い項目は、「自然環境の豊かさ」であった。続いて、「ごみの収集・処理の状況」、「水道の整備状況」の順であった。
- 満足度の最も低い項目は、「鉄道の便利さ」であった。続いて、「バスの便利さ」、「観光・レジャーの整備状況」の順であった。

本市の現状に関する市民の評価を把握するため、自然環境や生活基盤、福祉、教育など各分野にわたる24項目と全体的な市の現状を評価する項目の計25項目について、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらった。その結果を点数化（満足度：最高点10点、最低点-10点）して算出した。

各分野にわたる24項目のうち、評価点が最も高かったのは、「自然環境の豊かさ」（4.71点※前回4.66点）であった。続いて、「ごみの収集・処理の状況」（4.30点※前回4.12点）、「水道の整備状況」（3.40点※前回3.50点）、「火災や災害からの安全性」（3.24点※前回3.17点）、「騒音・振動・悪臭等の環境」（1.72点※前回1.46点）の順となった。平成28年度に実施した前回の調査とほぼ同様の結果となっている。

評価点が最も低かったのは、「鉄道の便利さ」（-4.99点※前回-4.70点）であった。続いて、「バスの便利さ」（-4.36点※前回-3.87点）、「観光・レジャーの整備状況」（-1.50点※前回-1.52点）、「道路の整備状況」（-0.82点※前回-0.76点）、「働きがいのある職場の充実度」（-0.80点※前回-1.24点）の順となった。平成28年度に実施した前回の調査とほぼ同様の結果となっている。

評価点がプラス値となっている項目は17項目、マイナス値となっている項目は7項目であった。平成28年度に実施した前回調査では、プラス値となっている項目は19項目、マイナス値となっている項目が5項目であった。

また、全体的な市の現状を評価する項目である「全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ」は、前回の2.37点から1.88点となり、プラス値ではあるが、0.49点下がる結果となった。

なお、居住地区別の評価点について、上位3項目と下位3項目、「全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ」を次ページのとおりまとめた。すべての地区で「自然環境の豊かさ」や「ごみの収集・処理の状況」の評価点が高い一方で、「鉄道の便利さ」と「バスの便利さ」の評価点は他の項目と比べて低い。また、平井地区、日野地区、鬼石地区は、他の地区と比べて「日常の買物の便利さ」の評価点が低くなっている。[図表1～3参照]

藤岡地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.99 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.35	鉄道の便利さ	-5.27
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.18	バスの便利さ	-3.90
第3位	水道の整備状況	3.61	観光・レジャーの整備状況	-1.60

神流地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.01 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.47	バスの便利さ	-4.32
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.38	鉄道の便利さ	-2.86
第3位	火災や災害からの安全性	3.26	観光・レジャーの整備状況	-1.24

小野地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.87 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.93	バスの便利さ	-4.22
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.16	鉄道の便利さ	-3.40
第3位	水道の整備状況	3.38	観光・レジャーの整備状況	-0.83

美土里地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.43 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.23	鉄道の便利さ	-6.09
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.06	バスの便利さ	-5.32
第3位	火災や災害からの安全性	3.66	観光・レジャーの整備状況	-2.12

美九里地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.68 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	5.72	鉄道の便利さ	-4.81
第2位	ごみの収集・処理の状況	5.31	バスの便利さ	-3.23
第3位	火災や災害からの安全性	4.75	観光・レジャーの整備状況	-1.05

平井地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 0.95 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	5.25	鉄道の便利さ	-6.43
第2位	ごみの収集・処理の状況	5.00	バスの便利さ	-5.57
第3位	火災や災害からの安全性	4.68	日常の買物の便利さ	-2.78

日野地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 0.00 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	6.11	鉄道の便利さ	-7.22
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.44	バスの便利さ	-5.56
第3位	騒音・振動・悪臭等の環境	4.12	日常の買物の便利さ	-2.50

鬼石地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 0.23 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	5.24	鉄道の便利さ	-7.34
第2位	ごみの収集・処理の状況	3.67	バスの便利さ	-5.63
第3位	水道の整備状況	3.05	日常の買物の便利さ	-4.38

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right)}{\text{回答者総数}}$$

この算出方法により、評価点（満足度）は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に－10点に近くなるほど評価が低くなる。

図表1 市の現状評価(全体、居住地区別/満足度)

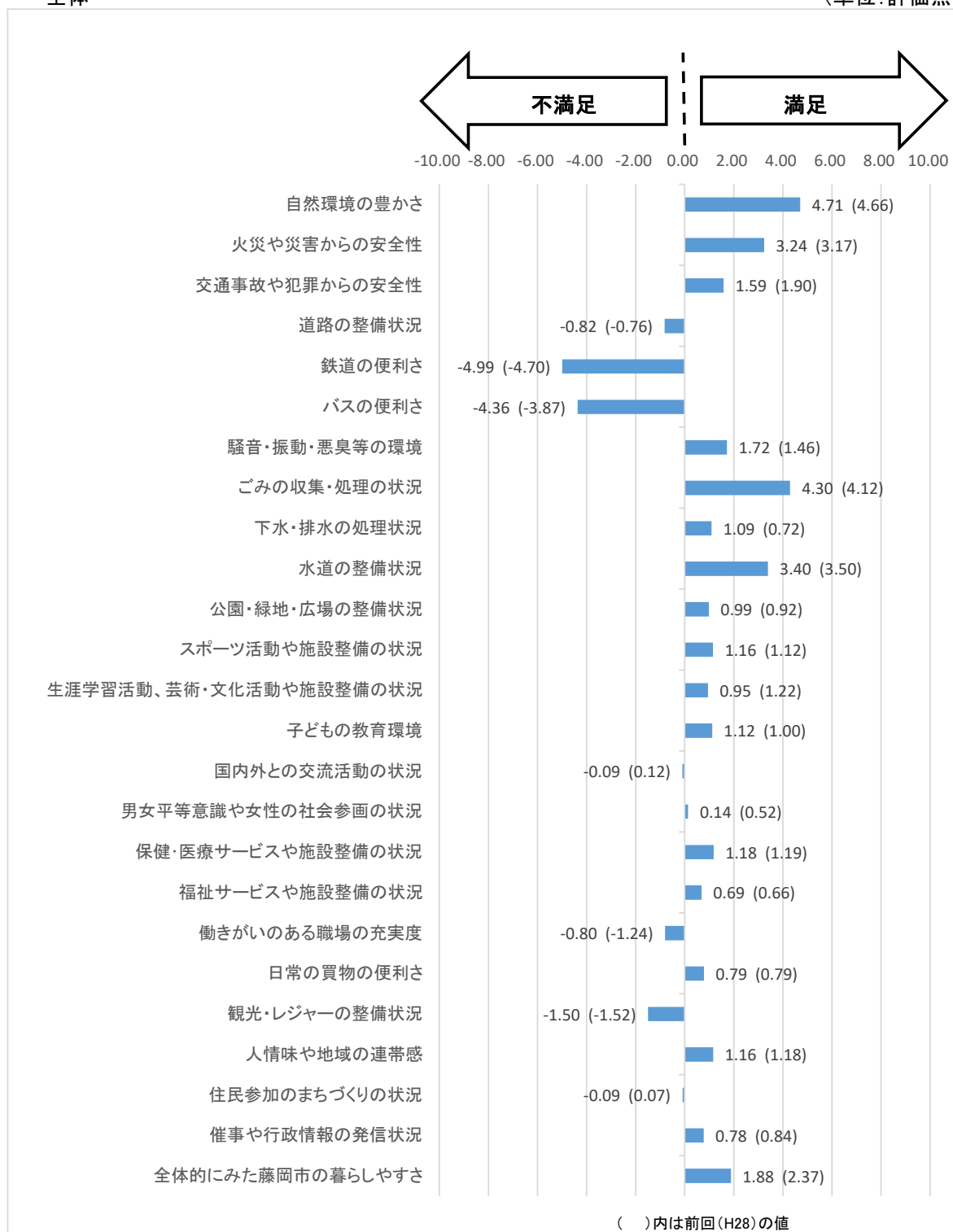
(単位:評価点)

	満足度								
	全体	居住地区							
		藤岡	神流	小野	美土里	美九里	平井	日野	鬼石
(1) 自然環境の豊かさ	4.71	4.35	4.47	4.93	4.23	5.72	5.25	6.11	5.24
(2) 火災や災害からの安全性	3.24	3.20	3.26	2.88	3.66	4.75	4.68	0.56	1.03
(3) 交通事故や犯罪からの安全性	1.59	1.37	1.34	1.33	1.15	1.79	3.11	1.67	2.82
(4) 道路の整備状況	-0.82	-1.04	-1.12	-0.74	-1.07	-0.19	1.61	-2.06	-1.64
(5) 鉄道の便利さ	-4.99	-5.27	-2.86	-3.40	-6.09	-4.81	-6.43	-7.22	-7.34
(6) バスの便利さ	-4.36	-3.90	-4.32	-4.22	-5.32	-3.23	-5.57	-5.56	-5.63
(7) 騒音・振動・悪臭等の環境	1.72	2.01	1.89	1.74	0.44	2.22	1.03	4.12	1.64
(8) ごみの収集・処理の状況	4.30	4.18	4.38	4.16	4.06	5.31	5.00	4.44	3.67
(9) 下水・排水の処理状況	1.09	2.71	-1.07	0.27	-0.88	1.69	1.03	1.39	0.97
(10) 水道の整備状況	3.40	3.61	3.05	3.38	3.42	4.05	2.86	2.22	3.05
(11) 公園・緑地・広場の整備状況	0.99	1.67	0.50	-0.54	0.66	2.50	0.65	0.56	0.86
(12) スポーツ活動や施設整備の状況	1.16	1.28	0.90	1.22	0.68	2.56	0.87	0.83	0.39
(13) 生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況	0.95	1.35	0.86	0.96	0.27	1.63	0.24	1.11	0.08
(14) 子どもの教育環境	1.12	1.34	1.04	1.52	1.06	1.17	0.89	1.11	-0.31
(15) 国内外との交流活動の状況	-0.09	0.08	-0.59	0.38	-0.23	-0.37	-0.08	-1.94	0.00
(16) 男女平等意識や女性の社会参画の状況	0.14	0.27	-0.32	0.45	-0.05	0.50	0.08	-1.11	0.08
(17) 保健・医療サービスや施設整備の状況	1.18	1.20	1.47	1.61	1.21	1.44	0.71	0.83	-0.16
(18) 福祉サービスや施設整備の状況	0.69	0.58	0.94	1.22	-0.05	1.31	0.63	0.83	0.16
(19) 働きがいのある職場の充実度	-0.80	-0.50	-0.60	-0.35	-1.65	-0.88	-1.05	-2.22	-1.35
(20) 日常の買物の便利さ	0.79	1.62	1.35	2.74	0.85	0.56	-2.78	-2.50	-4.38
(21) 観光・レジャーの整備状況	-1.50	-1.60	-1.24	-0.83	-2.12	-1.05	-1.31	-2.35	-2.27
(22) 人情味や地域の連帯感	1.16	0.94	1.32	1.56	0.63	1.54	1.11	1.94	1.59
(23) 住民参加のまちづくりの状況	-0.09	0.19	0.05	0.38	-0.72	-0.56	-0.63	-0.56	-0.31
(24) 催事や行政情報の発信状況	0.78	0.78	1.08	0.92	0.71	1.36	0.08	0.28	0.32
(25) 全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ	1.88	1.99	2.01	2.87	1.43	2.68	0.95	0.00	0.23

図表2 市の現状評価(全体/満足度)

全体

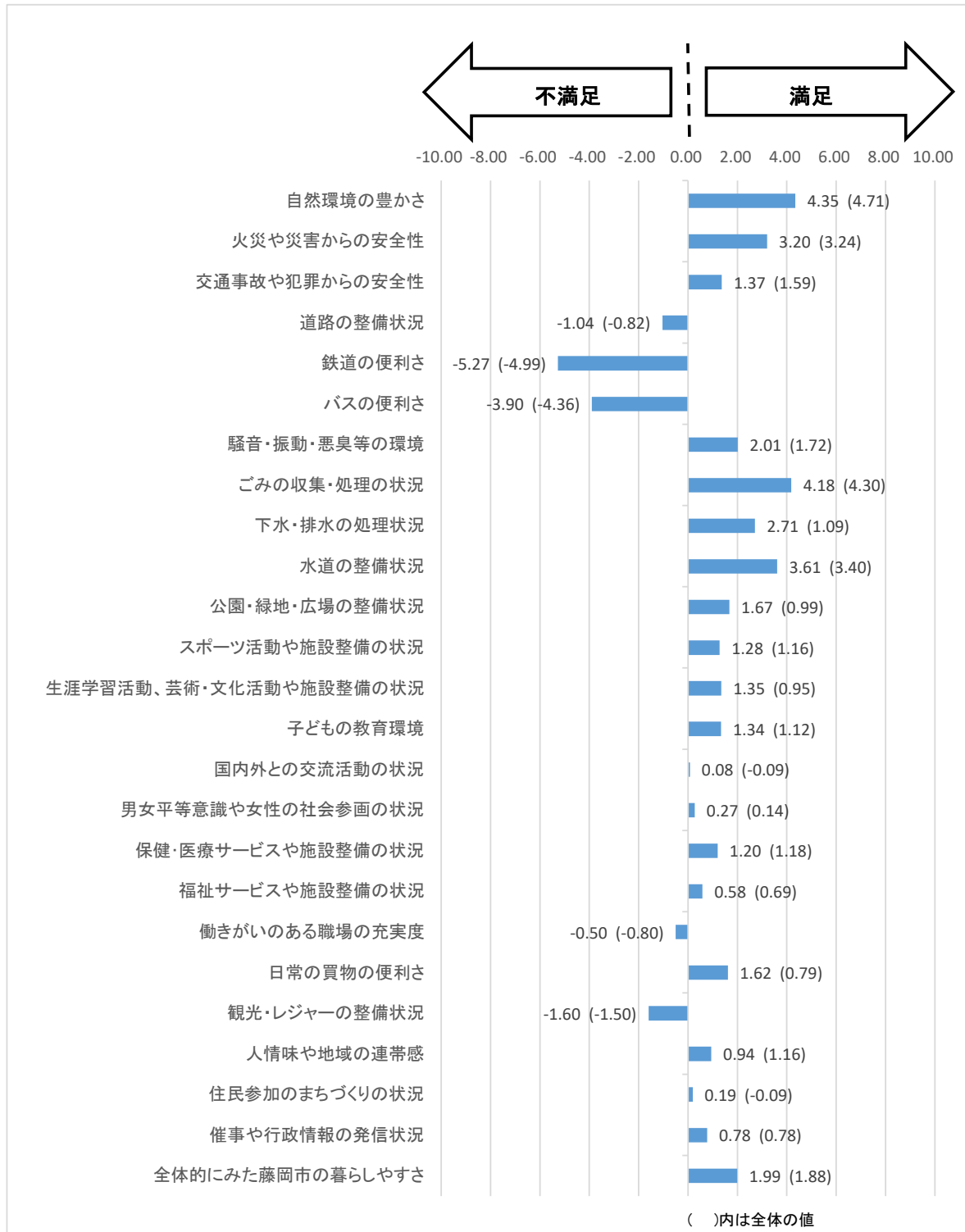
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

藤岡地区

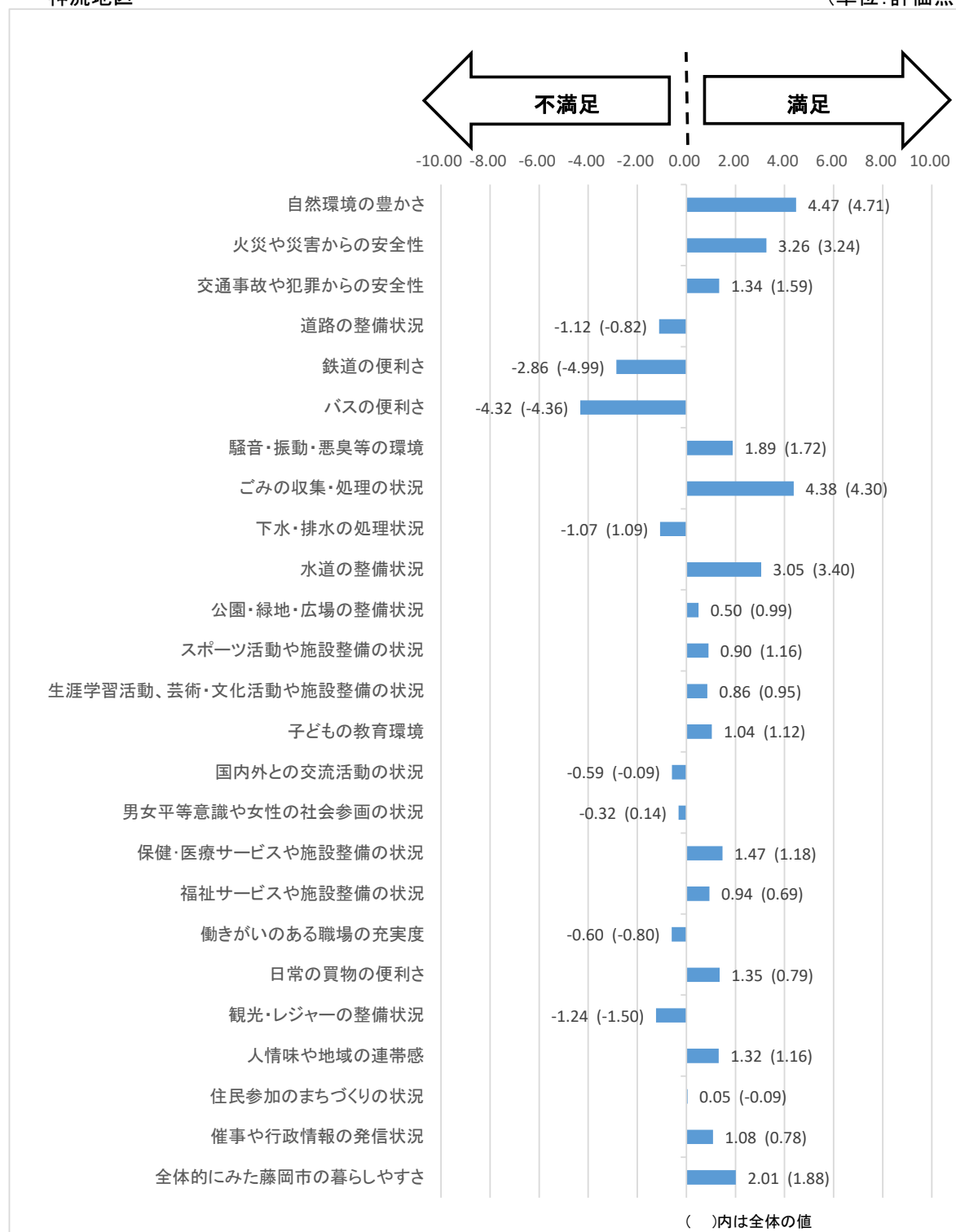
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

神流地区

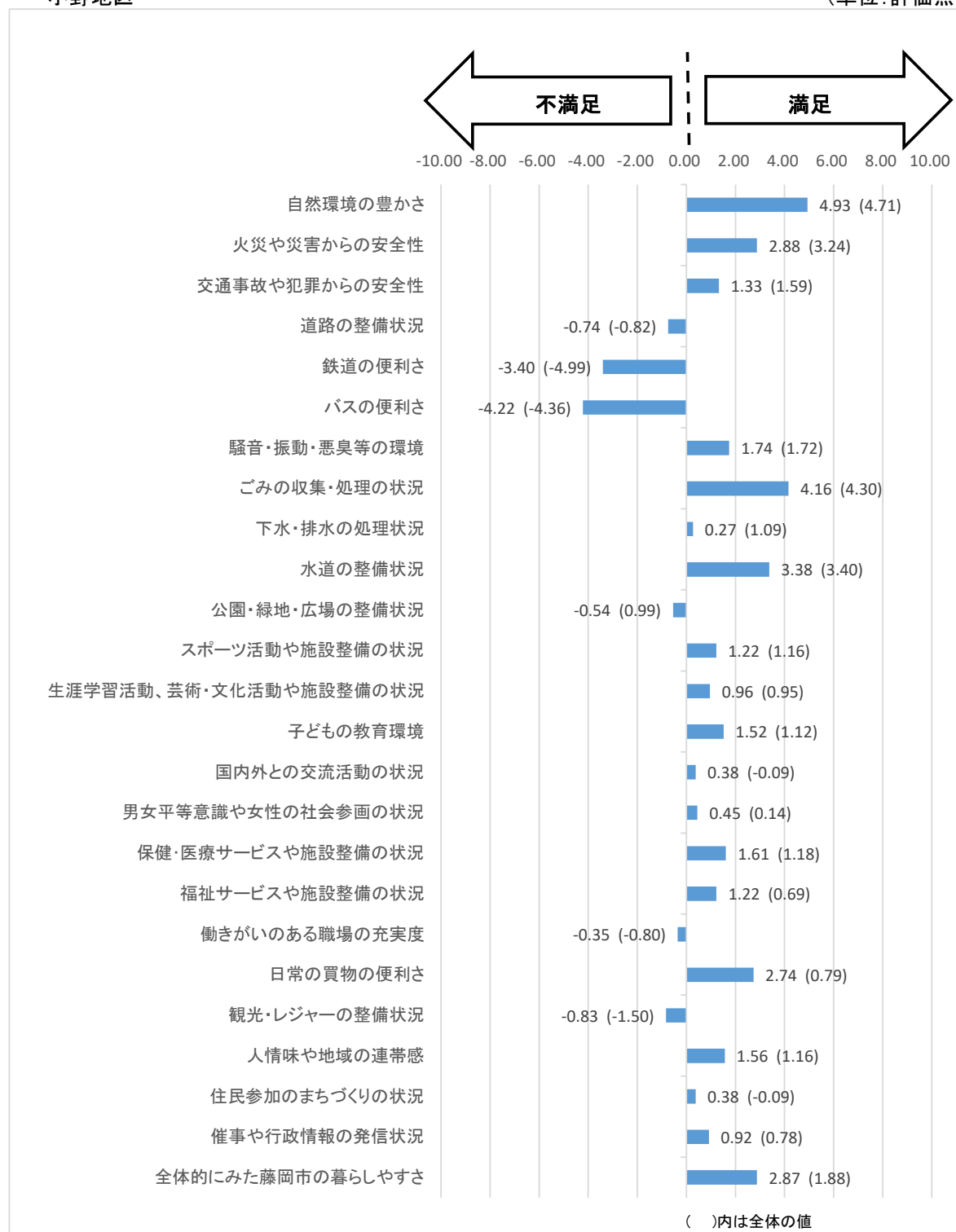
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

小野地区

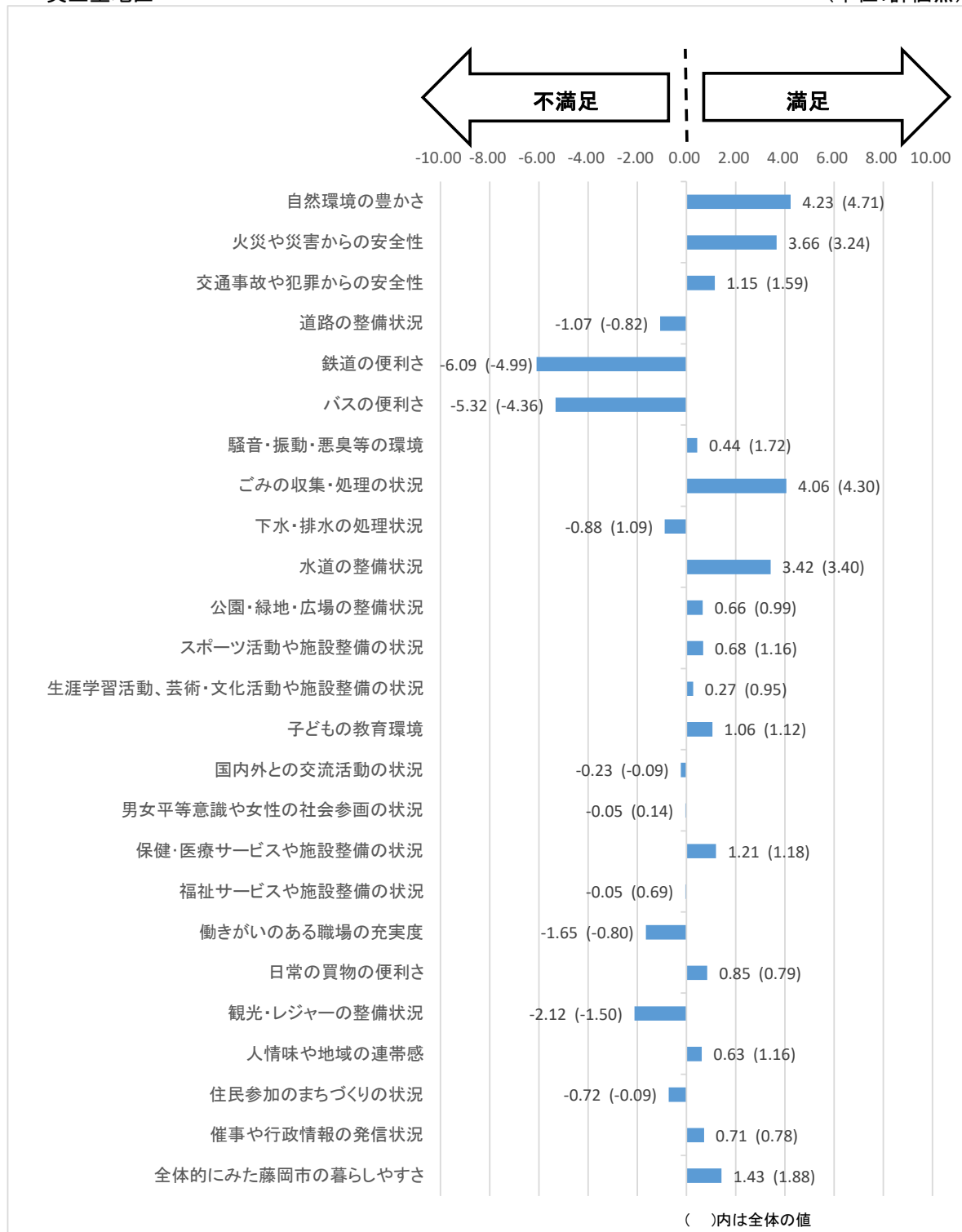
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

美土里地区

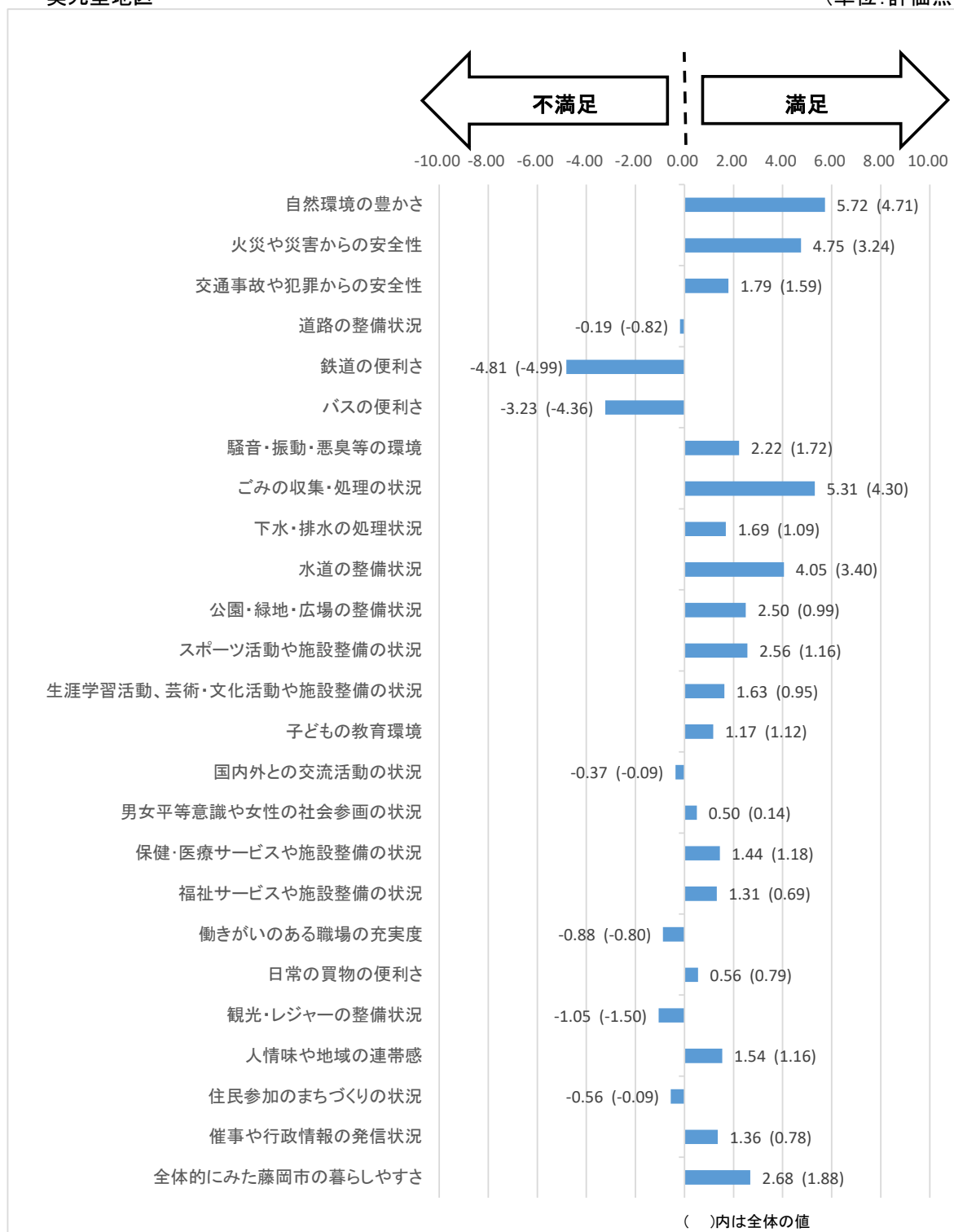
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

美九里地区

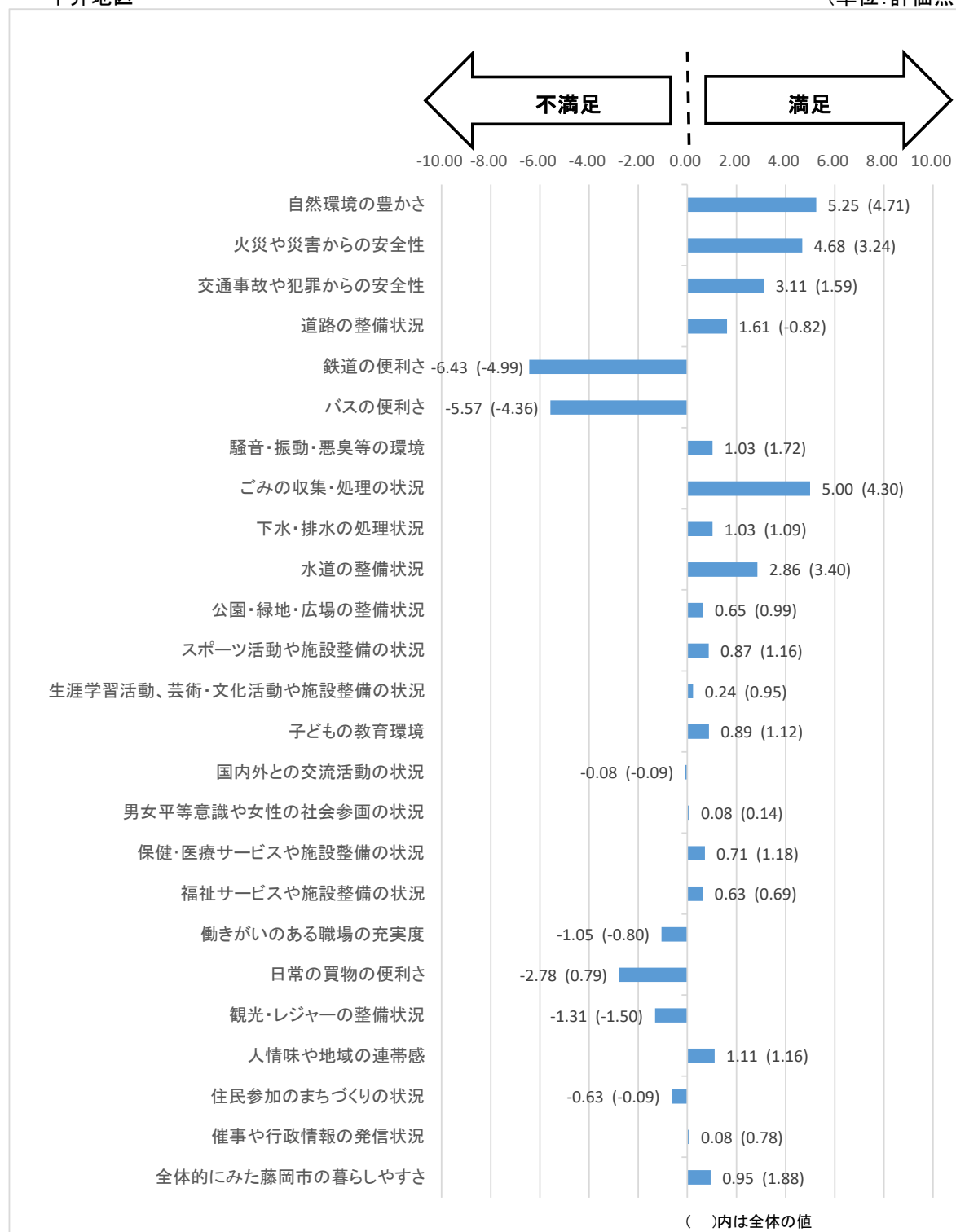
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

平井地区

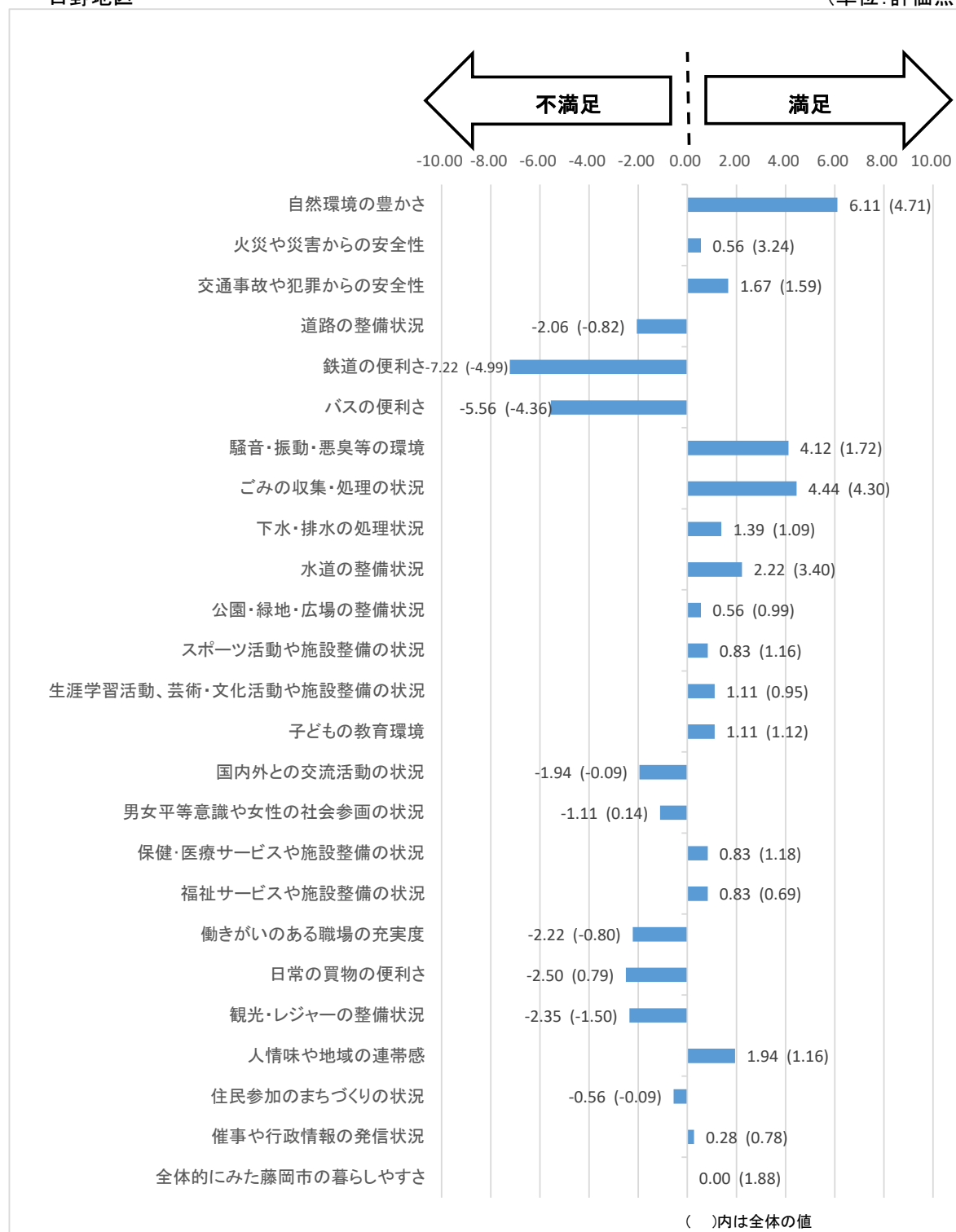
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

日野地区

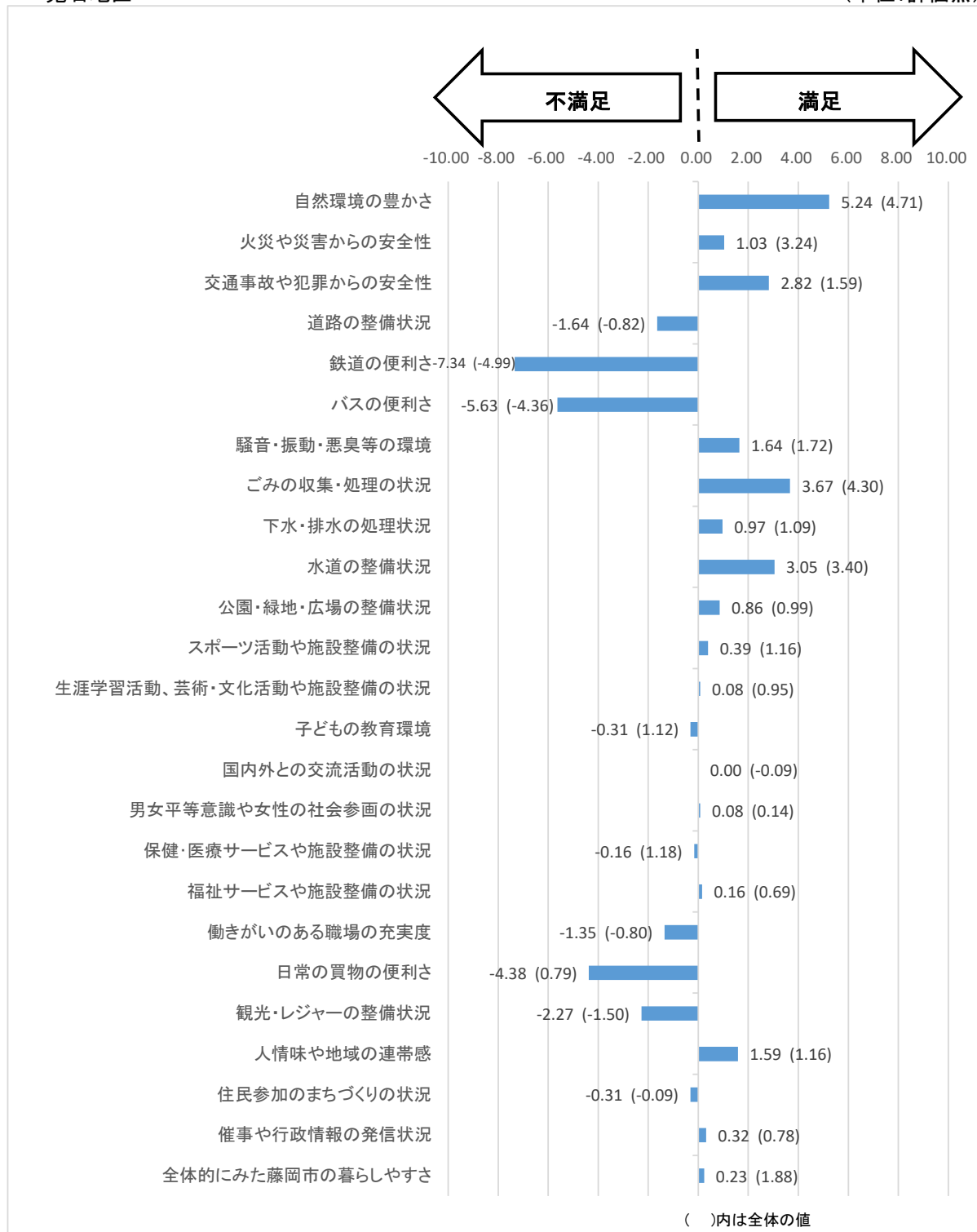
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

鬼石地区

(単位:評価点)



4 これからのまちづくりについて

今後の重点施策分野

問3 今後のまちづくりについて、特に力を入れてほしいと思う分野5つまでに○をつけてください。(1~36の番号のうち5つまでに○)



- 今後、最も力を入れて欲しい分野は、「道路の整備」であった。続いて、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」、「交通の便の充実（バス路線等の充実）」、「交通の便の充実（鉄道の充実）」、「保健・医療体制や施設の整備充実」であった。

まちづくりに関する36項目のうち、今後特に力を入れてほしいと思う分野5つまでを選んでもらった。

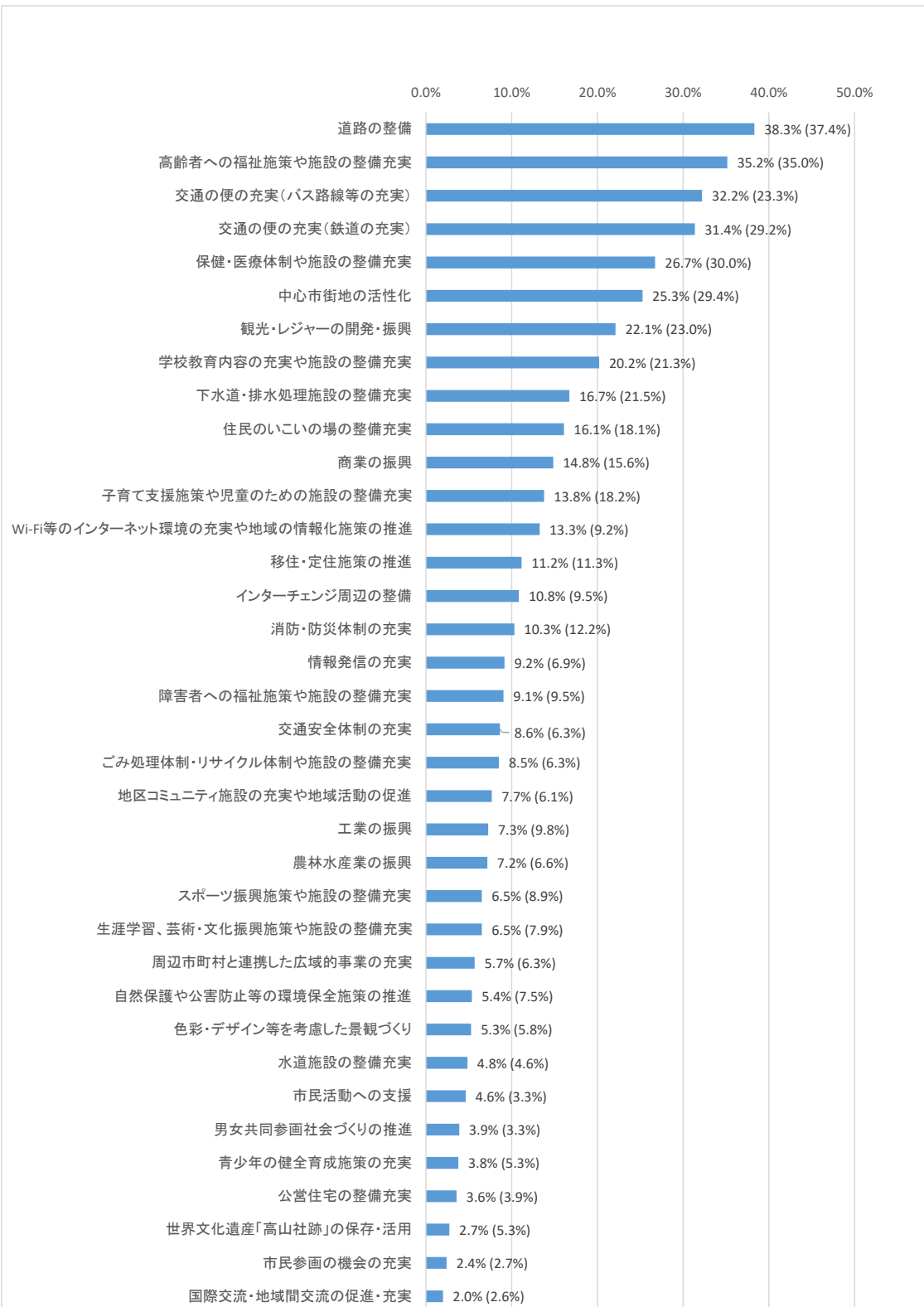
最も力を入れて欲しい分野は、「道路の整備」(38.3%※前回37.4%)であった。続いて、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」(35.2%※前回35.0%)、「交通の便の充実（バス路線等の充実）」(32.2%※前回23.3%)、「交通の便の充実（鉄道の充実）」(31.4%※前回29.2%)、「保健・医療体制や施設の整備充実」(26.7%※前回30.0%)の順となった。平成28年に実施した前回の調査と比較すると、「道路の整備」や「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」への関心は依然として高く、「交通の便の充実（バス路線等の充実）」、「交通の便の充実（鉄道の充実）」の施策への関心も高まっている。また、前述の分野より割合は低い、「Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進」(13.3%※前回9.2%)や「情報発信の充実」(9.2%※前回6.9%)、「交通安全体制の充実」(8.6%※前回6.3%)の施策への関心も高まっている。【図表4参照】

性別では、上位5つの分野に違いは見られないが、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」については、男性が第2位、32.3%に対し、女性は第1位（道路の整備と同率）、37.6%となっている。「交通の便の充実（バス路線等の充実）」については、男性が第4位、27.4%に対し、女性は第3位、36.5%となっている。

年齢別（世代別）では、若者は「交通の便の充実（鉄道の充実）」や「Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進」に関心が高く、子育て世代は、「学校教育内容の充実や施設の整備充実」や「子育て支援施策や児童のための施設の整備充実」に関心が高い。年齢が上がっていくにつれ、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」や「保健・医療体制や施設の整備充実」、「中心市街地の活性化」等への関心が高くなり、70~80歳代以上では、「交通の便の充実（バス路線等の充実）」に関心が高くなっていく。

地区別では、「道路の整備」や「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」、「交通の便の充実（バス路線等の充実）」の関心は全体的に高く、「交通の便の充実（鉄道の充実）」や「保健・医療体制や施設の整備充実」等は、地区によって差が見られる。【図表5~6参照】

図表4 今後の重点施策分野(全体/複数回答)



()内は前回(H28)の値

図表5 今後の重点施策分野(全体、性別、年齢別/複数回答)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		道路の整備 38.3%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 35.2%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 32.2%	交通の便の充実(鉄道の充実) 31.4%	保健・医療体制や施設の整備充実 26.7%
性別	男性	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		道路の整備 39.3%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 32.3%	交通の便の充実(鉄道の充実) 31.2%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 27.4%	保健・医療体制や施設の整備充実 25.1%
	女性	第1位	第3位	第4位	第5位	
		道路の整備、高齢者への福祉施策や施設の整備充実 37.6%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 36.5%	交通の便の充実(鉄道の充実) 31.8%	保健・医療体制や施設の整備充実 28.1%	
年齢別	10歳代	第1位	第2位	第3位	第4位	
		交通の便の充実(鉄道の充実) 58.3%	道路の整備 50.0%	Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進 41.7%	交通の便の充実(バス路線等の充実)、住民のいこいの場の整備充実、保健・医療体制や施設の整備充実、高齢者への福祉施策や施設の整備充実、観光・レジャーの開発・振興 33.3%	
	20歳代	第1位	第2位		第4位	第5位
		交通の便の充実(鉄道の充実) 58.6%	道路の整備、Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進 34.3%		観光・レジャーの開発・振興 30.0%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 27.1%
	30歳代	第1位	第2位		第4位	第5位
		学校教育内容の充実や施設の整備充実 46.2%	道路の整備、子育て支援施策や児童のための施設の整備充実 38.5%		交通の便の充実(鉄道の充実) 34.1%	観光・レジャーの開発・振興 33.0%
	40歳代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		交通の便の充実(鉄道の充実) 40.1%	道路の整備 34.7%	保健・医療体制や施設の整備充実 28.6%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 27.9%	観光・レジャーの開発・振興 27.2%
	50歳代	第1位		第3位	第4位	第5位
		道路の整備、高齢者への福祉施策や施設の整備充実 36.7%		交通の便の充実(鉄道の充実) 35.3%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 33.3%	保健・医療体制や施設の整備充実 28.7%
	60歳代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		道路の整備 44.5%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 40.8%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 33.5%	中心市街地の活性化 28.6%	保健・医療体制や施設の整備充実 26.1%
	70歳代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		高齢者への福祉施策や施設の整備充実 45.4%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 41.1%	道路の整備 37.2%	中心市街地の活性化 35.3%	保健・医療体制や施設の整備充実 26.1%
	80歳代以上	第1位	第2位	第3位	第4位	
		高齢者への福祉施策や施設の整備充実 65.2%	交通の便の充実(バス路線等の充実) 43.5%	道路の整備 30.4%	下水道・排水処理施設の整備充実、住民のいこいの場の整備充実、保健・医療体制や施設の整備充実 26.1%	

図表6 今後の重点施策分野(全体、居住地別/複数回答)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	道路の整備 38.3%	高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 35.2%	交通の便の充実(バス路 線等の充実) 32.2%	交通の便の充実(鉄道の 充実) 31.4%	保健・医療体制や施設の 整備充実 26.7%
藤岡地区	第1位 交通の便の充実(鉄道の 充実) 37.7%	第2位 道路の整備 37.4%	第3位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 32.2%	第4位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 28.9%	第5位 中心市街地の活性化 28.7%
神流地区	第1位 道路の整備 46.5%	第2位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 41.2%	第3位 保健・医療体制や施設の 整備充実 28.9%	第4位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 28.1%	第5位 下水道・排水処理施設の 整備充実 27.2%
小野地区	第1位 道路の整備 46.3%	第2位 交通の便の充実(鉄道の 充実) 39.6%	第3位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 35.6%	第4位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 30.2%	第5位 保健・医療体制や施設の 整備充実、学校教育内容 の充実や施設の整備充 実 26.2%
美土里地区	第1位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 36.3%	第2位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 34.5%	第3位 道路の整備 30.1%	第4位 中心市街地の活性化 29.2%	第5位 交通の便の充実(鉄道の 充実)、観光・レジャーの 開発・振興 26.5%
美九里地区	第1位 道路の整備 34.9%	第2位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 33.7%	第3位 中心市街地の活性化 32.5%	第4位 交通の便の充実(鉄道の充実)、高齢者への福祉施 策や施設の整備充実 28.9%	
平井地区	第1位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 49.2%	第2位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 42.9%	第3位 保健・医療体制や施設の 整備充実 33.3%	第4位 道路の整備 28.6%	第5位 交通の便の充実(鉄道の 充実)、住民のいこいの場 の整備充実 19.0%
日野地区	第1位 道路の整備 44.4%	第2位 高齢者への福祉施策や 施設の整備充実 38.9%	第3位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 33.3%	第4位 移住・定住施策の推進、中心市街地の活性化 27.8%	
鬼石地区	第1位 交通の便の充実(バス路 線等の充実) 40.6%	第2位 道路の整備、高齢者への 福祉施策や施設の整備 充実 37.5%	第4位 保健・医療体制や施設の 整備充実 32.8%	第5位 交通の便の充実(鉄道の充実)、消防・防災体制の充 実、移住・定住施策の推進、観光・レジャーの開発・ 振興、中心市街地の活性化 20.3%	

5 自由意見

◎その他、今後力を入れて欲しい分野やご意見・ご要望など、自由にご記入ください。



- 回答者950人のうち、自由記述欄に意見や要望など記入した回答者は317人（33.4%）、意見や要望などの数は479件であった。
- 意見や要望などを、①生活・環境、②健康・福祉、③産業・観光、④都市基盤、⑤教育・文化、⑥行財政、⑦その他の7分野及びその分野別に分類すると、次のとおりとなった。[図表7]

図表7 自由意見の分野別件数（全体）

分 野	件 数(件)
①生活・環境	89
②健康・福祉	48
③産業・観光	74
④都市基盤	145
⑤教育・文化	43
⑥行財政	46
⑦その他	34
計	479

自由意見の内容

分 野	内 容		件 数
① 生活・環境	消防・防災	街灯の設置	8
		防災無線の設置	5
		防災体制の充実	3
		消火栓の設置	1
		消火栓の位置がわかるマップの配布	1
		災害のない市としてアピール	1
	交通安全・防犯	高齢者の運転免許証自主返納促進及び返納後の支援充実	9
		交通マナー違反に対する注意喚起	6
		カーブミラーの設置箇所見直し、増設	3
		道路の見通しが悪いのに対策がされていない	1
		防犯カメラの設置	1
	循環型社会形成	資源ごみリサイクル体制の強化	2
		ごみ出しルールの周知徹底	2
		ごみ袋の無料化、指定ごみ袋の廃止	2
		コミュニティ・センター「やすらぎ」の利便性向上	2
		ごみの分別の細分化	1
		ごみを回収に来る時間が遅い	1
		ごみの収集場所が遠い	1
	地球温暖化対策	太陽光パネルの設置基準等の設定	2
		遊休地を活用した太陽光発電事業の実施	1
		電気自動車用充電器の設置	1
		家庭用発電機や蓄電池等への補助制度の創設	1
	環境保全	悪臭対策	3
		河川の清掃	1
		大気汚染対策	1
		動植物の生態系の保全	1
	環境衛生	不適正な野焼き焼却の防止	4
害虫駆除		1	
野生動物愛護活動の推進		1	
犬や猫の飼育マナーの向上		1	
ドッグランの整備		1	
保健所に保護された動物の譲渡会の強化		1	
上水道	良質な水道水の供給	6	
	上水道施設の整備	3	
	水道料金の値下げ	2	
下水道	下水道の普及促進	5	
その他	都市ガスの整備	2	
	降雪時の除雪支援	1	
計			89

分 野	内 容		件 数
② 健康・福祉	健康増進	健康増進のためのイベントの充実	1
	地域医療	救急医療体制の充実	3
		藤岡総合病院の利便性向上	2
		公立病院のスタッフの充実	1
		休日診療体制の充実	1
		藤岡総合病院の豪雨時の対策	1
	障害者福祉	障害者福祉施策の充実	1
		要約筆記者の養成	1
		重度障害者用の入所施設が足りない	1
	高齢者福祉	高齢者の居場所づくり	4
		安価で入居できる老人ホームの設置	3
		高齢者福祉施策の充実	2
		高齢者の社会的孤立対策	2
		老人ホームや高齢者用娯楽施設を総合的に整備	1
		高齢者が安心して働ける場所の確保	1
		高齢者一人一役運動による地域活性化	1
	子育て支援	子育て環境の充実	4
		子どもが遊べる施設の充実	3
		保育園が充実している	2
		子どもの予防接種自己負担額への助成	2
小野地区の学童保育所が少ない		1	
子育て支援センターの設置		1	
子育て応援券の使用選択肢が少ない		1	
レディース検診の充実		1	
保育料の値下げ		1	
病児保育施設の設置		1	
社会保障	国民健康保険税が高い	1	
その他	子ども、障害者、高齢者が一体化したコミュニティの形成	2	
	健康・福祉分野の分かりやすい情報発信	1	
	引きこもりの人への支援	1	
計			48

分 野	内 容		件 数
③ 産業・観光	商業・サービス業	大型商業施設（ショッピングモール等）の誘致	14
		若者向けの店舗（衣料品、雑貨、カフェ等）の充実	6
		スーパーやホームセンターの誘致	4
		飲食店の充実	3
		日常の買い物が不便	3
		商店街の活性化	2
		映画館の設置	2
	工業・地場産業	企業誘致の推進	3
		牛田工業団地の早期整備	1
	勤労者福祉・雇用	雇用環境の整備	2
		就業機会の確保	1
	観光	観光・レジャー施設の充実	8
		イベントの充実	8
		土と火の里公園の活性化	2
		竹沼の整備	2
		道の駅ららん藤岡の更なる活用	1
		道の駅ららん藤岡駐車場の市民無料化	1
		鬼石夏祭りのPR強化	1
		花火大会の毎年度実施	1
	農業	遊休農地有効活用の促進	2
		農地転用基準の明確化	1
		地産地消の促進	1
		中村堰の整備	1
地場の野菜などの生産拡充		1	
藤岡の農産物を活用したまちづくり		1	
林業	林業の活性化	1	
	人間と野生動物との緩衝地帯の整備	1	
計			74

分野	内 容		件 数
④ 都市基盤	土地利用	藤岡インターチェンジ周辺の開発	3
		都市計画区域の見直し	2
	市街地整備	市街地の活性化	4
		区画整理事業の推進	3
		コンパクトシティ化の推進	2
	道路・橋梁	道路の整備（拡幅、舗装等）	25
		歩道、通学路の整備（拡幅、バリアフリー化）	7
		有効な道路整備（不要な道路工事の廃止）	6
		サイクリングロードの整備	4
		効果的な街路樹の設置	3
		道路側溝の整備	3
		排水路の整備	2
		通行の妨げとならないような道路工事の実施	2
		高崎市や県中心部へのアクセス強化	1
		道路事情の地域格差の是正	1
		道路清掃の強化	1
	住環境	空き家対策の推進	7
		公営住宅の増設	1
	公共交通	車がなくても生活できる公共交通等の整備	15
		バス路線の充実（増便、経路見直し等）	13
		J R八高線の増便	8
		駅周辺の整備・活性化	5
		駅の利便性向上（エレベーター設置、待合室整備等）	4
		乗合タクシーの運行	4
		通学における交通の便の悪さの解消	2
		自動運転バスの運行	1
		乗車人数の少ないバスの小型化	1
		八高線のローカルな雰囲気を残してほしい	1
	公園・緑地	公園施設の充実	9
		毛野国白石丘陵公園の早期整備	2
		庚申山総合公園の整備	2
	景観	藤岡市出身デザイナーとの協働による景観づくり	1
計			145

分 野	内 容		件 数
⑤ 教育・文化	幼児教育・学校教育	教育関係予算の拡充	2
		子どもの学力の向上	2
		災害対策のための授業の実施	2
		英語教育の充実	1
		バドミントン部の創設（中学校）	1
	教育環境	高等学校の充実	2
		学校給食の地元食材使用	1
		給食費の無料化	1
		高齢者や幼児向けの給食サービスの提供	1
	生涯学習	市立図書館の利便性向上	2
		市立図書館が所有する資料や蔵書の適正管理	1
		勉強ができる施設の設置	1
		大型多目的ホールの設置	1
	スポーツ	スポーツ施設の充実	7
		市民体育館の照明料の無料化	2
		市民プール（みずとぴあ藤岡）の利便性向上	2
		スポーツの振興	1
		スポーツ大会時の福祉用仮設トイレの設置	1
		中高年向けの体操教室の実施	1
	青少年健全育成	成人式のような40歳となる市民のための式典開催	1
		市内にゲームセンターができるのは教育上良くない	1
	地域文化	文化会館の建設	1
		書や絵画等の展示に特化した施設の設置	1
		藤岡市出身の芸術家への支援	1
スタジアムやアリーナの建設		1	
伝統文化に対する理解と支援		1	
文化財	世界遺産を中心とした美九里地区の整備	1	
	堀越二郎の功績のアピール強化	1	
	古墳群などの史跡のPR	1	
	世界文化遺産「高山社跡」の適正な管理	1	
計			43

分 野	内 容		件 数
⑥ 行財政	広報広聴	広報ふじおか発行回数の見直し	2
		広報活動の充実	1
		インターネットを活用した情報発信	1
	行政運営	中心から離れた地域（過疎地域など）への行政の配慮	8
		未利用地・施設の適正管理及び有効活用	3
		市役所庁舎の整備（新設、耐震工事等）	2
		市職員の質の向上	2
		旧公立藤岡総合病院の有効活用	2
		公共施設のバリアフリー化	2
		税金の有効活用	2
		公共施設は新設ではなく、既存施設をリニューアル	1
		市役所利便性向上（土日の稼働、窓口の一本化等）	1
		指定管理者制度の充実	1
		税収に見合った行政運営	1
		市役所窓口での職員の手際が良く、ありがたい	1
		市の事業は経済的合理性が考慮されていない	1
	市民参画・協働	地域における道普請の廃止	1
		各地区からの要望の早期実現	1
		高齢化が進み、地域活動などに大変苦労している	1
		公共事業における市民意見の尊重	1
		ふるさと納税返礼品の充実	1
	交流活動	外国人の移住促進	1
		外国人居住者に対するマナーの周知徹底	1
中国だけでなく、他の国との交流促進		1	
市民参画・協働	税金が高い（下げてほしい）	4	
	市財政の健全化	2	
	公共料金の値下げ	1	
計			46

分 野	内 容	件 数
⑦ その他	アンケートの内容・実施方法についての意見等	7
	人口減少対策	6
	藤岡市の特徴づくり	3
	将来を見据えたまちづくり	2
	藤岡市のブランド化	2
	Uターン者に対する支援	2
	生活に困ることもなく、良い意味で「普通のまち」	1
	市全体の「勢い」が弱くなってきている	1
	ふじ娘のキャラクターデザインの改善	1
	多くの人が「行きたい」「過ごしたい」と思う藤岡であってほしい	1
	時代に合ったまちづくり	1
	これからの未来を創る「次世代」に注目してほしい	1
	新市長に期待している	1
	美しい自然を未来の人に残すまちづくり	1
	藤岡市の魅力のアピール強化	1
	公園、病院、道路などの充実を実感し、感謝している	1
	自然が豊かで住みやすい	1
	安心・安全な環境で皆が幸せそうに生活できるまちづくり	1
計		34
総 計		479

市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政へのご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

平成20年4月に始まりました「第4次藤岡市総合計画」は、平成30年3月をもって10年間の計画期間を終了し、平成30年4月から「第5次藤岡市総合計画」が新たに始まりました。

「第4次藤岡市総合計画」では、将来像を「市民が創り輝く やさしい藤岡～藤と冬桜が織りなす 幸せ実感のまちづくり～」とし、その実現に向けて各種施策を進めてきましたが、これまでの取り組みについて市民の皆様のご意見を伺い、今後の市政運営に生かしていくことが重要であると考えております。

そこで今回、市民の皆様のご意見を取り入れていく方法の1つとして、市民アンケート調査を実施します。18歳以上の市民の皆様の中から、2,000名を無作為に抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

なお、このアンケートはすべて統計的に処理いたしますので、個人を特定するようなことは一切ありません。

平成30年11月

藤岡市長 新井雅博

記入上の注意

- 宛名に記載されているご本人がお答えください。
- 氏名は記入しないでください。
- 回答は設問ごとに、「1つに○をつけるもの」と「5つまでに○をつけるもの」がありますのでご注意ください。
※○印は番号を囲んでください。
- ご記入いただいたアンケートは、平成30年11月30日(金)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
- このアンケートについてのお問い合わせは、下の連絡先をお願いします。



藤岡市役所 企画課 企画係
〒375-8601 藤岡市中栗須 327
TEL：0274-22-1211（内線 2434）
FAX：0274-24-3252

まず初めに、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

設 問	回答欄（1 つに○）	
1 あなたの性別	1 男 2 女	
2 あなたの年齢	1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代 8 80代以上	
3 あなたの職業	自 営	1 農林水産業 2 製造業・建設業 3 卸小売、飲食業 4 その他サービス業等
	勤 め	5 農林水産業 6 製造業・建設業 7 卸小売、飲食業 8 その他サービス業等（公務員を含む）
	そ の 他	9 主婦 10 無職 11 学生・その他
4 あなたの就業先	1 市内 2 県内他市町村 3 県外 4 就業していない	
5 あなたの居住経験	1 藤岡市に生まれてからずっと住んでいる 2 藤岡市出身だが、市外での居住経験がある 3 県内の他の市町村から転入してきた 4 県外から転入してきた	
6 あなたの居住地区	1 藤岡地区 2 神流地区 3 小野地区 4 美土里地区 5 美九里地区 6 平井地区 7 日野地区 8 鬼石地区	

次に、藤岡市の現状についてお聞きします。

問2 藤岡市の現状に関する(1)～(25)の各項目について、あてはまる満足度1つに○をつけてください。(5～1の番号のうち1つに○)

項 目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
(1) 自然環境の豊かさ	5	4	3	2	1
(2) 火災や災害からの安全性	5	4	3	2	1
(3) 交通事故や犯罪からの安全性	5	4	3	2	1
(4) 道路の整備状況	5	4	3	2	1
(5) 鉄道の便利さ	5	4	3	2	1
(6) バスの便利さ	5	4	3	2	1
(7) 騒音・振動・悪臭等の環境	5	4	3	2	1
(8) ごみの収集・処理の状況	5	4	3	2	1
(9) 下水・排水の処理状況	5	4	3	2	1
(10) 水道の整備状況	5	4	3	2	1
(11) 公園・緑地・広場の整備状況	5	4	3	2	1
(12) スポーツ活動や施設整備の状況	5	4	3	2	1
(13) 生涯学習活動、芸術・文化活動や 施設整備の状況	5	4	3	2	1
(14) 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
(15) 国内外との交流活動の状況	5	4	3	2	1
(16) 男女平等意識や女性の社会参画の状況	5	4	3	2	1
(17) 保健・医療サービスや施設整備の状況	5	4	3	2	1
(18) 福祉サービスや施設整備の状況	5	4	3	2	1
(19) 働きがいのある職場の充実度	5	4	3	2	1
(20) 日常の買物の便利さ	5	4	3	2	1
(21) 観光・レジャーの整備状況	5	4	3	2	1
(22) 人情味や地域の連帯感	5	4	3	2	1
(23) 住民参加のまちづくりの状況	5	4	3	2	1
(24) 催事や行政情報の発信状況	5	4	3	2	1
(25) 全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ	5	4	3	2	1

最後に、今後のまちづくりについてお聞きします。

問3 今後のまちづくりについて、特に力を入れてほしいと思う分野5つまでに○をつけてください。（1～36の番号のうち5つまでに○）

1	道路の整備（舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等）	19	学校（幼・小・中）教育内容の充実や施設の整備充実
2	インターチェンジ周辺の整備	20	青少年の健全育成施策の充実
3	交通の便の充実（鉄道の充実）	21	男女共同参画社会づくりの推進
4	交通の便の充実（バス路線等の充実）	22	移住・定住施策の推進（U・Iターン）
5	交通安全体制の充実	23	農林水産業の振興
6	消防・防災体制の充実	24	工業の振興
7	水道施設の整備充実	25	商業の振興
8	下水道・排水処理施設の整備充実	26	観光・レジャーの開発・振興
9	ごみ処理・リサイクル体制や施設の整備充実	27	世界文化遺産「高山社跡」の保存・活用
10	住民のいこいの場（公園、緑地、水辺等）の整備充実	28	国際交流・地域間交流の促進・充実
11	自然保護や公害防止等の環境保全施策の推進	29	Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進
12	公営住宅の整備充実	30	中心市街地の活性化
13	保健・医療体制や施設の整備充実	31	色彩・デザイン等を考慮した景観づくり
14	高齢者への福祉施策や施設の整備充実	32	周辺市町村と連携した広域的事業の充実
15	障害者への福祉施策や施設の整備充実	33	地区コミュニティ施設（集会所、広場等）の充実や地域活動の促進
16	子育て支援施策や児童のための施設（保育所や遊び場等）の整備充実	34	情報発信の充実
17	生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実	35	市民活動への支援
18	スポーツ振興施策や施設の整備充実	36	市民参画の機会の充実

◎ その他、今後力を入れて欲しい分野やご意見・ご要望など、自由にご記入ください。